

〔研究業績〕

〔著書〕

正村公宏 『経済体制の選択』（東洋経済新報社，72，10）

〔論文〕

三輪芳郎 「戦後日本技術の再評価」（経済評論，72，9）

玉城 哲 「比較灌漑農業論序説」（アジア経済13 - 7）

正村公宏 「日本経済の現状と労働組合運動」（日労協雑誌，161）

内田義彦 「学問と芸術」（思想No.579，72，9）

望月清司 「『本源的所有』と世界資本主義」（芝原拓自著『所有と生産様式の歴史理論』の書評）（思想，No.579，72，9）

木崎喜代治 「アベ・ボードーあるいは近代財政理論への一つの道」（専修経済学論集No.13）

宮下誠一郎 「M・ドップ『社会主義的計画化の諸問題』ノート」（同上No.13）

平川東亜 「有効需要と均衡成長」（同上 No.13）

森下澄男 「専修学校の経済学講義録について（二）」（専修商学論集 No.13）

大西勝明 「日本の研究投資 - 合成繊維工業を中心に -」（同上No.13）

〔所 報〕

- 第四回帝国主義研究会〔7月1日（土），午前11時より，神田学 会館〕
研究報告：福島新吾所員「明治初期フランス法翻訳と『自由』 - 大井憲太郎の場合 - 」
- 夏期合宿研究会〔7月8日（土）～7月9日（日），静岡県 賀茂郡河津町国民宿舎「かわず」〕
研究報告：①山本満所員「ナショナリズムとインターナショナリズム - 国際関係分析の視
角について - 」
②野原四郎所員「中国革命について」
③社研日雇労働市場調査班「建設・港湾運送業における日雇労働者の労働市場と
生活構造」
- 産構研研究会〔7月21日（金）午後1時より，神田学士会館〕
研究報告：加藤幸三郎所員「大正九年の八幡争議」（北九州実態調査報告・続）

<編集後記>

南ベトナムでアメリカは最後のアガキを繰り返している。1973年に向ってアジアに真の平和と民主主義を確立するためにがんばろう。本号は森下所員・伊東所員の論稿と研究報告を掲載した。（H）

神奈川県川崎市多摩区生田4764
専修大学社会科学研究所
電話(044)91-7131 (内線63)
(発行者) 江 沢 讓 爾